

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	苫小牧工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	創造工学科(機械系)	夜・通信			8	10	7	
	創造工学科(都市・環境系)	夜・通信			15	17	7	
	創造工学科(応用化学・生物系)	夜・通信		2	7	9	7	
	創造工学科(電気電子系)	夜・通信			6	8	7	
	創造工学科(情報科学・工学系)	夜・通信			12	14	7	
	機械工学科	夜・通信			8	10	7	
	環境都市工学科	夜・通信			15	17	7	
	物質工学科	夜・通信		2	7	9	7	
	電気電子工学科	夜・通信			6	8	7	
	情報工学科	夜・通信			12	14	7	
	電子・生産システム工学専攻	夜・通信		8	12	20	7	
	環境システム工学専攻	夜・通信			6	14	7	
<p>(備考) 創造工学科は平成28年度に設置され、完成年度を超えていないため、設置計画に基づいた実務経験のある教員等による授業科目の単位数を記載している。機械工学科、環境都市工学科、物質工学科、電気電子工学科及び情報工学科は平成27年度をもって学生募集を停止しており、従前の教育課程に基づいた実務経験のある教員等による授業科目の単位数を記載している。</p>								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=02&lang=ja ※各学科・系の「開講科目一覧」ページに掲載</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	苫小牧工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.kosen-k.go.jp/about/release/index.html#yakuinmeibo>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	熊本大学長	平成28年4月1日～ 令和6年3月31日	理事長
常勤	東京工業大学理事・ 副学長	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日	研究・産学連携 情報システム
非常勤	東京大学教授	平成26年4月1日～ 令和2年3月31日	男女共同参画 推進
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	苫小牧工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 教務委員会の指導の下、科目担当教員が授業計画(シラバス)を11月～12月頃作成し、1月頃ウェブ上で公開している。公開内容には授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等の事項が含まれ、公開された内容に従って授業が進められている。</p>	
授業計画書の公表方法	https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=02&lang=ja
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 科目ごとの成績評価の基準は1.の通り事前に公開されており、本校「学業成績の評価並びに課程の修了及び卒業の認定に関する規程」及び本校「専攻科の授業科目の履修に関する規程」に則って履修の認定並びに単位の認定が行われている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では学生の成績評価の客観的な指標として以下の通りの算出方法でクラス内（1年生のみ学年全体）での席次を算出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての履修科目の評価点の平均点により、クラスの成績順位付けを行っている。なお、必修科目については、全て履修科目数に含め、そのうち欠席が多く「未履修」となった科目は評価点を「0点」とみなして計算している。 <p>算出方法については学期末に各家庭へ向けて発送する「学業成績通知書」の通知文書に記載およびホームページで公表している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.tomakomai-ct.ac.jp/dep/syllabus
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では学生が身につけるべき能力として、学習目標やディプロマ・ポリシーを設定し、ホームページ等で広く公表している。</p> <p>卒業及び修了は、ディプロマ・ポリシー、学則並びに本校「学業成績の評価並びに課程の修了及び卒業の認定に関する規程」及び本校「専攻科の授業科目の履修に関する規程」の卒業・修了要件を踏まえ、卒業・修了判定会議を開催の上、校長が卒業・修了を認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>ディプロマ・ポリシー</p> <p>https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/purpose1</p> <p>第5章 教務・学生○苫小牧工業高等専門学校学業成績の評価並びに課程の修了及び卒業の認定に関する規程</p> <p>https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/kitei</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	苫小牧工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH29.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH29.pdf
財産目録	
事業報告書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/H29jigyohokokusho1.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/kanjiikenH30.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画 対象年度:平成31年度(2019年度))
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/nendo-h31.pdf
中長期計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画 対象年度:平成31年(2019年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/chuukikeikaku-4th.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/assessment

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/steering/h26

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 創造工学科
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/purpose1 https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honpurpose)
(概要) 本校は、教育基本法 の精神にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。(学則第 1 条) 創造工学科は、工学分野共通の基礎を教育した上で、豊かで安全な未来を創造するための核となる専門分野とその周辺の知識と技術に関する実践的な教育を行い、豊かな人間性と自主性及び広い視野をもった人材を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/hondp)
(概要) 創造工学科では、専門の基礎学力やコミュニケーション力を身につけるとともに、幅広い視点を持って自身のコアとなる専門分野を学ぶことのできる教育を進めている。こうした教育を通じて、自ら学び考え、課題を発見し解決することのできる創造性・探究心豊かな人材を育成します。また 4 学年では各専門系を専門コースとフロンティアコースに別け、専門コースでは工学分野の幅広い知識を持った人材、フロンティアコースでは、工学的知識と経営的知識を持った人材を育成している。こうした人材を育成するため、以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。 修得する能力 下記に示す各系の専門工学分野をコアとした、幅広い知識と技術を活用する能力 課題の本質を理解し、論理的に分析する能力 他者と協働し課題に取り組む事のできる能力 正しい倫理観のもとで責任を持って課題に取り組む能力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honcp)
(概要) 創造工学科 創造工学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げた人材を養成するため、次の基本方針に基づいて教育課程を編成し、実施している。 (1) 基礎教育 進路選択を適切に行うため、入学試験時に専門を選択しない「大括り入試」を実施します。1 学年は混合学級とし、多様な仲間とともに工学の基礎を学ぶとともに、コミュニケーション能力の向上をします。 (2) 専門教育 2 学年以降に行われる専門教育は、1 学年で育んだ能力を基礎にして、各専門系のディプロマ・ポリシーを達成するために配置されています。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : 学生募集要項、 https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honap)

<p>(概要)</p> <p>苫小牧高専本科は、基礎学力のある中学校卒業生等で、次のような人の入学を歓迎します。また、3年次・4年次編入学の場合は以下に準じます。</p> <p>豊かな教養と専門知識や技術を幅広く身につけたい人 「ものづくり」に興味があり、技術を活用して社会に貢献したい人 知的探究心を持ち、新しいことに挑戦したい人</p>
--

学部等名 機械工学科

<p>教育研究上の目的（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/purpose1 https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honpurpose）</p>
--

<p>(概要)</p> <p>本校は、教育基本法の精神にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。（学則第1条）</p> <p>機械工学科は、豊かで安全な未来を創造するために必要な、機械、エネルギー、環境などの技術に関する実践的な教育を行い、豊かな人間性と自主性および広い視野を持った人材を育成する。</p>
--

<p>卒業の認定に関する方針 （公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/hondp）</p>
--

<p>(概要)</p> <p>以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定します。 本校の学習目標に基づき、材料力学、流体力学、熱力学、機械力学、材料・加工学及び学際領域を含む機械工学の分野で、幅広い視野を持って活躍できる能力。</p>

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honcp）</p>
--

<p>(概要)</p> <p>本校の教育課程の編成及び実施に関する方針は「カリキュラム・ポリシー」として本校ホームページ上で公開し、広く公表されている。</p> <p>機械工学科では、実践的技術者として備えるべき、幅広い教養との関連のもとに、「ものづくり」の実践を基本に、技術者として必要な専門知識の修得、創造力、応用能力を育成するために、時代や社会のニーズに対応し、実践的技術者として必要な能力等を養う教育を行うようなカリキュラムを編成している。</p>
--

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生募集要項、https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honap）</p>

<p>(概要)</p> <p>本校の学生受け入れ方針は「アドミッション・ポリシー」として学生募集要項や本校ホームページ等で公開し、広く公表されている。</p> <p>機械工学科では、自動車やロボット、電子機器などのさまざまな「ものづくり」のための幅広い勉強を行う。このため、次のような人材の入学を期待している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー・材料・情報などの開発や応用に興味があり、自らチャレンジしたい人 ・「ものづくり」や、その「仕組み」などに興味があり、深く学びたい人 ・向上心があり、人と自然の調和する豊かな生活へ貢献したい人
--

学部等名 電気電子工学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/purpose1 https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honpurpose ）
<p>（概要）</p> <p>本校は、教育基本法の本質にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。（学則第1条）</p> <p>電気電子工学科は、豊かで安全な未来を創造するために必要な、エネルギー・制御、エレクトロニクス、情報・通信などの技術に関する実践的な教育を行い、豊かな人間性と自主性および広い視野を持った人材を育成する。</p>
卒業の認定に関する方針 （公表方法： https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/hondp ）
<p>（概要）</p> <p>以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。</p> <p>本校の学習目標に基づき、エネルギー・制御、エレクトロニクス、情報通信及び学際領域を含む電気電子工学の分野で、幅広い視野を持って活躍できる能力。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honcp ）
<p>（概要）</p> <p>本校の教育課程の編成及び実施に関する方針は「カリキュラム・ポリシー」として本校ホームページ上で公開し、広く公表されている。</p> <p>電気電子工学科では、実践的技術者として備えるべき、幅広い教養との関連のもとに、「ものづくり」の実践を基本に、技術者として必要な専門知識の修得、創造力、応用能力を育成するために、時代や社会のニーズに対応し、実践的技術者として必要な能力等を養う教育を行うようなカリキュラムを編成している。</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生募集要項、 https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honap ）
<p>（概要）</p> <p>本校の学生受け入れ方針は「アドミッション・ポリシー」として学生募集要項や本校ホームページ等で公開し、広く公表されている。</p> <p>電気電子工学科では、一般や専門の基礎科目のもとに、エネルギー・制御、エレクトロニクス、情報・通信などの幅広い分野の勉強を行う。このため、次のような人材の入学を歓迎する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気エネルギーや、ロボットなどに興味がある人 ・電気電子工作に興味がある人 ・情報通信のしぐみに興味がある人

学部等名 情報工学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/purpose1 https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honpurpose ）

<p>(概要)</p> <p>本校は、教育基本法 の精神にのっとり、及び学校教育法 に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。(学則第1条)</p> <p>情報工学科は、豊かで安全な未来を創造するために必要な、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークなどの情報技術に関する実践的な教育を行い、豊かな人間性と自主性および広い視野を持った学生を育てる。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/hondp)</p>
<p>(概要)</p> <p>以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。</p> <p>本校の学習目標に基づき、計算機工学、ソフトウェア工学、情報通信、組込みシステム及び学際領域を含む情報科学・工学の分野で、幅広い視野を持って活躍できる能力。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honcp)</p>
<p>(概要)</p> <p>本校の教育課程の編成及び実施に関する方針は「カリキュラム・ポリシー」として本校ホームページ上で公開し、広く公表されている。</p> <p>情報工学科では、実践的技術者として備えるべき、幅広い教養との関連のもとに、「ものづくり」の実践を基本に、技術者として必要な専門知識の修得、創造力、応用能力を育成するために、時代や社会のニーズに対応し、実践的技術者として必要な能力等を養う教育を行うようなカリキュラムを編成している。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：学生募集要項、https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honap)</p>
<p>(概要)</p> <p>本校の学生受け入れ方針は「アドミッション・ポリシー」として学生募集要項や本校ホームページ等で公開し、広く公表されている。</p> <p>情報工学科では、インターネットをはじめとした高度情報化社会を支える情報技術者を育成する。このため、次のような人材の入学を期待している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータやネットワークに関心がある人 ・コンピュータを使ったシステムの設計や開発に興味がある人 ・情報技術を通じて社会に貢献したい人
<p>学部等名 物質工学科</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/purpose1 https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honpurpose)</p>
<p>(概要)</p> <p>本校は、教育基本法 の精神にのっとり、及び学校教育法 に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。(学則第1条)</p> <p>物質工学科は、豊かで安全な未来を創造するために必要な、物質の合成、物性および解析などの物質工学に関する実践的な教育を行い、豊かな人間性と自主性および広い視野を持った専門技術者を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/hondp)</p>

<p>(概要)</p> <p>以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。</p> <p>本校の学習目標に基づき、材料工学、プロセス設計、生物工学、食品科学及び学際領域を含む応用化学・生物化学の分野で、幅広い視野を持って活躍できる能力。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honcp）</p>
<p>(概要)</p> <p>本校の教育課程の編成及び実施に関する方針は「カリキュラム・ポリシー」として本校ホームページ上で公開し、広く公表されている。</p> <p>物質工学科では、実践的技術者として備えるべき、幅広い教養との関連のもとに、「ものづくり」の実践を基本に、技術者として必要な専門知識の修得、創造力、応用能力を育成するために、時代や社会のニーズに対応し、実践的技術者として必要な能力等を養う教育を行うようなカリキュラムを編成している。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生募集要項、https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honap）</p>
<p>(概要)</p> <p>本校の学生受け入れ方針は「アドミッション・ポリシー」として学生募集要項や本校ホームページ等で公開し、広く公表されている。</p> <p>物質工学科では、化学を利用して、私たちの生活に役立ち、環境への影響も考えた物質をつくりだす「化学技術者」になりたい人材を歓迎する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある材料や生物の「なぜ？」に興味を持っている人 ・理科や数学が得意で、実験が好きな人 ・新しいことに仲間と協力しながら積極的に取り組むことができる人
<p>学部等名 環境都市工学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/purpose1 https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honpurpose）</p>
<p>(概要)</p> <p>本校は、教育基本法 の精神にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。（学則第1条）</p> <p>環境都市工学科は、豊かで安全な未来を創造するために必要な、自然と調和した社会基盤整備に関する実践的な教育を行い、豊かな人間性と自主性および広い視野を持った人材を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/hondp）</p>
<p>(概要)</p> <p>以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。</p> <p>本校の学習目標に基づき、構造力学、水理学、地盤工学、都市計画学及び学際領域を含む都市・環境工学の分野で、幅広い視野を持って活躍できる能力。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honcp）</p>

<p>(概要)</p> <p>本校の教育課程の編成及び実施に関する方針は「カリキュラム・ポリシー」として本校ホームページ上で公開し、広く公表されている。</p> <p>環境都市工学科では、実践的技術者として備えるべき、幅広い教養との関連のもとに、「ものづくり」の実践を基本に、技術者として必要な専門知識の修得、創造力、応用能力を育成するために、時代や社会のニーズに対応し、実践的技術者として必要な能力等を養う教育を行うようなカリキュラムを編成している。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生募集要項、https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honap）</p>
<p>(概要)</p> <p>本校の学生受け入れ方針は「アドミッション・ポリシー」として学生募集要項や本校ホームページ等で公開し、広く公表されている。</p> <p>環境都市工学科では、人びとの生活を安全で快適にするための施設や仕組みをつくるために幅広い勉強を行う。このため、次のような人材を求めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋や道路などの建設に興味がある人 ・災害に強いまちづくりに興味がある人 ・環境や景観に興味がある人
<p>学部等名 電子・生産システム工学専攻</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/purpose1 https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honpurpose）</p>
<p>(概要)</p> <p>本校は、教育基本法の精神にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。（学則第1条）</p> <p>準学士課程で修得した機械・電気電子・情報工学の知識や技術を基礎とし、境界領域を認識できる能力、「ものづくり」の基礎となる幅広い分野の実践的・複合的能力を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 （公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/hondp）</p>
<p>(概要)</p> <p>専攻科では、豊かな人間性と教養および広い視野を身につけるとともに、複数の視点で物事をとらえて新しい技術を創造する基礎力、グローバルに活躍するための教養とコミュニケーション能力および相互理解の精神を身につけた人材を育成する。以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/sencp）</p>
<p>(概要)</p> <p>本校の教育課程の編成及び実施に関する方針は「カリキュラム・ポリシー」として本校ホームページ上で公開し、広く公表されている。</p> <p>専攻科では、ディプロマ・ポリシーにて掲げた人材を養成するため、カリキュラム設計方針に基づいて教育課程を編成し、実施する。専攻科は、機械工学科、電気電子工学科、情報工学科を基盤としている電子・生産システム工学専攻と物質工学科、環境都市工学科を基盤としている環境システム工学専攻からなる。両専攻の目的に照らして必要な科目群を選定し、これらの科目群を体系的に履修できるように配置する。</p>

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生募集要項、https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/senap）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校の学生受け入れ方針は「アドミッション・ポリシー」として学生募集要項や本校ホームページ等で公開し、広く公表されている。</p> <p>苫小牧高専専攻科は、すでに工学の基礎を習得した高専卒業生等で、次のような人の入学を歓迎する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より高度でより幅広い「ものづくり」に意欲のある人 ・専門分野のより高度な技術を学びたい人 ・科学技術を通して国際社会に貢献したい人 ・人間と自然との共生に取り組む意欲のある人 <p>入学者選抜の基本方針は、苫小牧高専の教育理念に示された人材を育てるため、専攻科における入学者選抜では、工学の基礎を習得していることを重視します。また、学力と勉強意欲が高い多様な資質を持った入学者を選抜するため、学力選抜、推薦選抜及び社会人特別選抜を実施する。</p>

<p>学部等名 環境システム工学専攻</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/purpose1 https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/honpurpose）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校は、教育基本法の本質にのっとり、及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。（学則第1条）</p> <p>準学士課程で修得した物質工学・環境都市工学の知識や技術を基礎とし、境界領域を認識できる能力、素材・材料、生物機能、社会基盤に関する分野の実践的・複合的能力を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/hondp）</p>
<p>（概要）</p> <p>専攻科では、豊かな人間性と教養および広い視野を身につけるとともに、複数の視点で物事をとらえて新しい技術を創造する基礎力、グローバルに活躍するための教養とコミュニケーション能力および相互理解の精神を身につけた人材を育成する。以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/senap）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校の教育課程の編成及び実施に関する方針は「カリキュラム・ポリシー」として本校ホームページ上で公開し、広く公表されている。</p> <p>専攻科では、ディプロマ・ポリシーにて掲げた人材を養成するため、カリキュラム設計方針に基づいて教育課程を編成し、実施する。専攻科は、機械工学科、電気電子工学科、情報工学科を基盤としている電子・生産システム工学専攻と物質工学科、環境都市工学科を基盤としている環境システム工学専攻からなる。両専攻の目的に照らして必要な科目群を選定し、これらの科目群を体系的に履修できるように配置する。</p>

入学者の受入れに関する方針（公表方法：学生募集要項、<https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/purpose/senap>）

（概要）

本校の学生受け入れ方針は「アドミッション・ポリシー」として学生募集要項や本校ホームページ等で公開し、広く公表されている。

苫小牧高専専攻科は、すでに工学の基礎を習得した高専卒業生等で、次のような人の入学を歓迎する。

- ・より高度でより幅広い「ものづくり」に意欲のある人
- ・専門分野のより高度な技術を学びたい人
- ・科学技術を通して国際社会に貢献したい人
- ・人間と自然との共生に取り組む意欲のある人

入学者選抜の基本方針は、苫小牧高専の教育理念に示された人材を育てるため、専攻科における入学者選抜では、工学の基礎を習得していることを重視します。また、学力と勉強意欲が高い多様な資質を持った入学者を選抜するため、学力選抜、推薦選抜及び社会人特別選抜を実施する。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/edu-info>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	6人	—					6人
創造工学科	—	33人	35人	1人	7人	人	76人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
人			22人				22人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：researchmap (https://researchmap.jp/)、国立高専研究情報ポータル (https://research.kosen-k.go.jp/)、e-Rad (https://www.e-rad.go.jp/)					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
創造工学科	200人	199人	99.5%	800人	797人	99.6%	若干人	6人
機械工学科	0人	0人	%	40人	35人	87.5%	若干人	1人
電気電子工学科	0人	0人	%	40人	33人	82.5%	若干人	0人
情報工学科	0人	0人	%	40人	40人	100%	若干人	1人
物質工学科	0人	0人	%	40人	33人	82.5%	若干人	0人
環境都市工学科	0人	0人	%	40人	41人	102.5%	若干人	2人
合計	200人	199人	99.5%	1000人	979人	97.9%	人	10人
電子・生産システム工学専攻	12人	13人	108.3%	24人	28人	116.7%	人	人
環境システム工学専攻	8人	13人	162.5%	16人	23人	143.8%	人	人
合計	20人	26人	130%	40人	51人	127.5%	人	人
（備考）平成27年度以前の改組前の入学者は機械工学科等5学科へ配属、平成28年度以降の改組後の入学者は創造工学科へ配属（平成32年度にカリキュラム完成）。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
機械工学科	40人 (100%)	11人 (27.5%)	29人 (72.5%)	0人 (0%)

電気電子工学科	39人 (100%)	16人 (41.0%)	23人 (59.0%)	0人 (0%)
情報工学科	35人 (100%)	10人 (28.6%)	24人 (68.6%)	1人 (2.9%)
物質工学科	41人 (100%)	13人 (31.7%)	27人 (65.9%)	1人 (2.4%)
環境都市工学科	43人 (100%)	21人 (48.8%)	20人 (46.5%)	2人 (4.7%)
合計	198人 (100%)	71人 (35.9%)	123人 (62.1%)	4人 (2.0%)
電子・生産システム工学専攻	16人 (100%)	4人 (25.0%)	12人 (75.0%)	0人 (0%)
環境システム工学専攻	8人 (100%)	2人 (25.0%)	6人 (75.0%)	0人 (0%)
合計	24人 (100%)	6人 (%)	18人 (%)	0人 (0%)
合計（本科・専攻科計）	222人 (100%)	77人 (34.7%)	141人 (63.5%)	4人 (1.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 教務委員会の指導の下、科目担当教員が授業計画（シラバス）を作成し、ウェブ上で公開している。公開内容には授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等の事項が含まれ、公開された内容に従って授業が進められている。（再掲）

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 本校の卒業要件は学則並びに本校「学業成績の評価並びに課程の修了及び卒業の認定に関する規程」及び本校「専攻科の授業科目の履修に関する規程」において規定され、広く公表されている。（再掲）				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	創造工学科	167 単位		
	機械工学科	167 単位		
	電気電子工学科	167 単位		
	情報工学科	167 単位		
	物質工学科	167 単位		
	環境都市工学科	167 単位		
	電子・生産システム工学専攻	62 単位		
	環境システム工学専攻	62 単位		
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：アクセス https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/access 施設紹介 https://www.tomakomai-ct.ac.jp/facility

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	創造工学 科	234,600 円	84,600 円	約 75,276 円 ～ 約 94,976 円	(内訳) スポーツ振興センター共済掛金 1,550 円 教科書代 約 18,000 円 教材・体育服等 19,716 円 後援会入会金 (※) 10,000 円 後援会前期会費 10,000 円 学生会費 10,500 円 1 年オリエンテーション諸経費 9,700 円 スタディサポート等 5,260 円 入学式クラス写真代 550 円 寄宿料 (※) 7,700 円 寮生会費 (※) 2,000 円 (※) は該当学生のみ
	電子・生 産システ ム工学専 攻、環境 システム 工学専攻	234,600 円	84,600 円	約 35,705 円 ～ 約 45,705 円	(内訳) スポーツ振興センター共済掛金 1,550 円 教科書代 約 20,000 円 後援会入会金 (※) 10,000 円 後援会前期会費 10,000 円 英語検定料 4,155 円 (※) は該当学生のみ

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 授業料免除、就学支援金、各種奨学金等の申請や手続きについて、随時学生、保護者に対して周知を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 本校キャリア教育センターでは、求人情報・大学編入学募集に関する情報を取りまとめて学生に提供しているほか、進学・就職に係る各種ガイダンスや研修会を実施し、学生の活動を支援している。 また、低学年次からOBによる講演等を通じて、自身のキャリアデザインを考える授業を開設している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健室では、看護師 2 名 (常勤 1, 非常勤 1) が、学生の病気やケガに適宜対応できる体制となっており、定期健康診断等をもとに健康相談にも応じている。 学生相談室では 8 名の相談員が交替で、毎日 3 名体制で放課後に常駐して相談できる体制をとっているほか、外部カウンセラー 3 名、言語聴覚士 1 名が週 1 日来校し、学生への支援を行っている。 また、支援の申し出があった学生には、学生相談室員、学級担任等がチームを組んで対応しており、学生生活に必要な情報は発達障害等就学支援委員会を通じて学内で共有できる体制となっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.tomakomai-ct.ac.jp/outline/edu-info>